

しまなみ海道を活かした 自転車まちづくりプロジェクト

～地元根ざした、持続可能な地域おこし～

1 社会資本の概要

今回受賞対象となった国道317号(愛媛県内)および周辺の県道は、本州四国連絡高速道路株式会社管理である西瀬戸自動車道(しまなみ海道)の9つの橋梁部の自転車歩行者道と一体となり、今治市から広島県尾道市までを海峡を横断できるサイクリングルート「瀬戸内海横断自転車道」として設定されています。



海上サイクリングへの入口の自転車用ループ橋



海外への取組のきっかけともなった台湾訪問団との交流

「海の上を自転車でわたる」というしまなみならではの魅力が徐々に浸透しており、平成24年度推計では自転車通行実績が17万台となりました。また平成26年6月に米CNNにて「世界で最も素晴らしい7大サイクリングコース」に選ばれたほか、同年10月には海外トップレベルのサイクリングコースである台湾「日月潭(ニチゲツタン)サイクリングコース沿線地域」と姉妹自転車道協定の締結をするなど、海外のサイクリストを視野に各種取組を積極的に進めています。

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「NPO法人シクロツーリズムしまなみ」は、愛媛県今治市、上島町の島しょ部をメインフィールドに、「自転車地域おこし」を目的として、自転車ツアーのコーディネート、安全啓発、人材育成等、自転車旅行者受入を実施しています。

島しょ部の過疎高齢化を解決しようと始まった「自転車モデルコースづくり」を実施するなかで平成17年に前身となる「しまなみスローサイクリング協議会」を発足、その後平成21年にNPO法人化しました。



念願のサイクルオアシス総合拠点「シクロの家」

おもな取組として、「自転車の休憩所“しまなみサイクルオアシス”」をはじめ、簡易宿泊所「シクロの家」を整備し、しまなみを訪れるサイクリストへの簡易宿泊および情報収集の拠点としてさらなるサービス向上を目指しています。

また地域限定旅行業免許を取得し、サイクリスト向け弁当「二輪弁」を企画するなど地元への利益還元に貢献するほか、「サイクルトレインしまなみ号(JR四国)」やサイクルポートしまなみ号(船)など既存公共交通機関ともうまく連携し地域との共存共栄を目指しています。



県・JRとの協働で実現した「サイクルトレインしまなみ号」

3 地域への成果や波及効果等

しまなみ海道を利用するレンタサイクル台数は順調に増加し、約8万2,000台(平成25年実績)と4年間で6割増加しています。また「サイクルオアシス」の仕組みにより、島の人とサイクリストの間でコミュニケーションが生まれ、今では島自体の活性化に寄与しつつあります。

また、波及効果として、愛媛県の「愛媛マルゴト自転車道」作戦に加え、四国四県で四国一周約1000kmのサイクリングルート設定に向けた動きも出るなど自転車を生かした「地域」おこしは、いまや四国全体へのうごきとなっています。



「サイクルオアシス」で自転車修理をしてくれる島民の方



島の畑でも島民とサイクリストの交流

喜びの声



●受賞者

特定非営利活動法人 シクロツーリズムしまなみ
代表理事 山本 優子

●コメント

地域と旅人をつなぐ活動をご評価いただき、支え合ってきた地域全体への賞賛となりました。大変光栄です。今後はより官民の協働体制を大切にしながら、豊かな暮らしを次世代へつなぐ活動にまい進して参りたいです。

●活動内容

①ガイドツアーの実施、②地域紹介ツールの発行、③交流拠点の整備など、シクロツーリズム(自転車旅行)の普及・提案に資する活動を展開。

●活動の経緯

- 平成18年 サイクリングモデルコースづくり事業の展開
- 平成19年 前身となる協議会設立、しまなみ資源活用プロジェクト「マーケット分析」活動展開
- 平成21年 NPO法人シクロツーリズムしまなみ設立

所在地

愛媛県今治市吉海町ほか(大島、伯方島、大三島ほか)

活動主体及び連絡先

特定非営利活動法人 シクロツーリズムしまなみ
(0898-33-0069)

対象となる社会資本

国道317号、県道21号ほか
※管理者：愛媛県東予地方局今治土木事務所
(代表：0898-23-2500)



手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集

手づくり郷土賞について

講評

大賞部門

一般部門

資料集